



# 安里屋ユンタ

琉球民謡 歌・池田卓

一、安里屋ぬ クヤマによ  
あん美らさ 生りばしよ  
マタハーリヌ チンダラ  
カヌシヤマヨ

二、いみしやから あふあり生りばし  
くゆさから 白さすうりばし

三、目差主ぬ くゆたらよ  
あたるやぬ 望みよたよ

四、目差主や ばなんぽよ  
あたるやや くれゆむよ

五、なゆでから んぽですか  
いきやでから ゆむですよ

六、島ぬ夫 持たばぬよ  
組ぬ里 かむばすよ

一、安里屋のクヤマ（女）は  
絶世の美人に 生まれた

二、生まれた時から 美しく  
幼い頃から 色白でした

三、目差主（助役）に 見染められ  
当る親（村長）に 望まれた

四、目差主は 私はいやです  
当る親は 私は嫌いです

五、何故 いやですか  
どうして 嫌いですか

六、島の夫を 持てばこそ  
組の人に 嫁げばこそ

## 曲解説

八重山は竹富島を代表する民謡「安里屋節」は24番まであるとても長い物語歌で  
あります。その内容を、言うならば、島のニーサー（青年）の願望が込められて歌  
われているのがこの「安里屋ユンタ」です。池田卓が島のニーサーに感情移入して  
歌う姿は聴く人の感動を誘います。さて、感動ばかりしないでしっかり練習しまし  
よう。八重山の言葉で歌っています。